







.9/11		チェック項目	■ はい ■ どちらともいえない ■ いいえ	改善目標、工夫している点など
1 環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	57% 29% 14%	限られたスペースの中でも落ち着ける空間作りをしている。学習コーナー、静養コーナーや個別対応コーナーを設けている。 また、利用定員が満員時は、外出（お散歩・ミッション）する等の工夫をしている。
	2	職員の配置数は適切であるか	44% 44% 11%	利用者10人に対して支援員3人以上配置、同性介助を基本としている。 外出イベントや、通常と異なるプログラム時は、支援員の配置を1：2で対応をしている。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	11% 44% 44%	玄関ドアを開けたままに出来るようにドアストッパーの設置をする。 「段差あり」と注意喚起表示(玄関、トイレ、廊下)をする。 マットを置いて段差を軽減している(洗面所と廊下の間)。 建物のエントランスの段差解消のため、場合によってスロープを設置出来るように用意をしている。
5 業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	44% 56% 0%	その日課題やイベントの目的と振り返りを毎時行っている。 評価や改善策などスタッフがすぐに取り組めるよう、周知徹底に努めている。また、振り返り内容を（業務日誌）等で共有していく。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	89% 11% 0%	保護者からのニーズを把握、評価表で掲げている改善目標を1年以内で業務改善をしていく。 また、具体的な行動に変えすまいる通信（お便り）等でお知らせしていく。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やHP等で公開しているか	56% 44% 0%	評価表をHP内で公開している。 保護者に郵送、またスタッフにも配布。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	11% 56% 33%	第三者評価を近年中に行っていく方向で検討している。
8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	90% 10% 0%	法人内研修を月に一回テーマを決めて行っている。29年度は一般社団法人 子供青少年育成支援協会が開催している外部の研修に参加している。	
9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	80% 20% 0%	保護者よりニーズや課題を聞き取りし、計画見直しをしている。 利用者1人1人のニーズに合わせて行なっている。	
10	子どもの適切行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	38% 50% 13%	視覚的優位のツールを取り入れ行く予定。また、フェイスシートを活用して利用者の状況を見ている。スケジュール、トイレマークや下駄箱・おやつ等、利用者が安心して過ごせるよう今後も改善を繰り返しよりよいものを目指していきます。	

.9/11	チェック項目	■はい ■どちらともいえない ■いいえ	改善目標、工夫している点など
11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	75% 25% 0%	随時利用者の参加状況に応じて、TEACCHプログラム（自立した生活を送れるように）・課外活動・創作活動等それぞれのチームで意見を出し合い立案し進めている。
12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	78% 22% 0%	毎週火曜日の体操は種目（体幹・バランス等）毎回変えてる。他の曜日に関してもプログラムを毎月変え取り組んでいる。長期休み・土曜日は課外活動として、遠足・スタンプラリー・クッキング等課外活動を中心に固定化しない様に取り組んでいる。
13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	89% 11% 0%	平日は個別プログラムを中心に、休日や長期は自立に向けての体験や課外活動を中心にプログラムを設定している。
14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか	100% 0%	個別の課題を行う時間と、集団のルールに従って行う時間を考慮して作成している。
15	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	100% 0%	毎日、プログラムの内容を職員間で確認し合っているが、個人にあった方法で細かく伝えられる様工夫していく。
16	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	90% 10% 0%	日誌・個別のファイルで共有している。この個別ファイルをリーダーが3ヶ月毎にまとめていく。
17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	60% 40% 0%	支援の向上のためのケア会議を年4回儲ける。支援員のケアの質の統一を図る
18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	56% 44% 0%	モニタリングを重視して計画の見直しを行っている。
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせる支援をおこなっているか	50% 40% 10%	ガイドラインの総則の基本において支援に取り組んでいますが、ケア会議等でもケアの質の向上を図る。

.9/11	チェック項目	■はい ■どちらともいえない ■いいえ	改善目標、工夫している点など
20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通して最もふさわしい者が参画しているか	56% 44% 0%	リーダーが参加している。
21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換・子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時対応、トラブル発生時の連絡）を適切におこなっているか	90% 10% 0%	学校のホームページや児童の担任、バスの送迎者やヘルパーステーションの方からの申し送りを確認している。
22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	50% 50% 0%	医療的ケア児を受け入れていますが、医療的ケアをしていないため、まだ主治医との連携はとっていません。今年度は緊急時対策のフロー作成するために連携を取るようしていきます。
23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	22% 33% 44%	児童発達支援事業所や親の会等との情報共有は行っている。
24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	33% 67% 0%	提供できる準備はしている。
25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	33% 33% 33%	連携をとり、研修があれば参加していく。
26	放課後等児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	33% 33% 33%	親子交流会での兄弟児との交流、えがおファンクラブ事業の利用者との交流を月に一度行っている。また、近隣の児童館との交流する機会を設けていきます。
27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	11% 44% 44%	今年度は2回参加しました。今後も参加可能であれば是非参加していきたいと思ます。
28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	100% 0%	毎回子供の様子を連絡帳で保護者と連絡を取り合ったり、お迎え時に様子を伝えている。
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	33% 44% 22%	保護者から相談には随時対応をしています。ペアレント・トレーニングを今後は前向きに考えていきます。

.9/11	チェック項目	■ は い ■ どちらともいえない ■ いいえ	改善目標、工夫している点など
30	運営規定、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	78% 22% 0%	契約時、変更時に適宜伝えている。書類の書式が変わった際に事前に教え施している。問い合わせがあった場合に説明をしている。
31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援をおこなっているか	89% 11% 0%	保護者からの相談には随時対応をしています。またそのことで利用者の支援の変更があれば支援員内で共有をしています。
32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	67% 33% 0%	29年度は3回以上、親子交流会を行いました。30年度は保護者会・親子交流会を開催する予定です。
33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切な対応しているか	100% 0%	現在も相談窓口を設置している。契約時に説明を行い、対応、整備を伝えていく
34	定期的な会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に発信しているか	100% 0%	月1回のすまいる通信やブログ、玄関脇の写真にて、予定や児童の様子を掲載している。 年1回放課後等デイサービスの評価表（保護者向け・事業者向け）を実施。結果は保護者に配布またHPで公開している。
35	個人情報に十分注意しているか	90% 10% 0%	法人で写真掲載の許可有無の確認等している。カルテやケア支援等は鍵付き書庫内で管理をしている。
36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	90% 10% 0%	毎時個人情報に気を付けながら、ご利用時には連絡帳を用いて情報伝達をしている。 緊急性や情報共有の急務により、直接連絡をしている。 利用者とは、絵カード、ジェスチャー、指文字等を使用して、コミュニケーションまたは意思疎通を図っている。
37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	22% 67% 11%	就学の障害児とのおご家族を含めたイベントを年2回おこなう。 療育機関等にイベント案内を置かせてもらい、広く多くの方の参加を募っている。

.9/11		チェック項目	■ は い ■ どちらともいえない ■ いいえ	改善目標、工夫している点など
非 常 時 等 の 対 応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか		緊急時対応マニュアルは契約時にお渡ししている。防犯マニュアル・感染症マニュアルに関しては30年度にすまいる内で作成し、保護者に配布・周知をしていく予定。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか		年4回の避難訓練（伝言ダイヤルを含む）第一避難所→広域避難所まで実際に歩いて非難訓練を行う。怪我をして歩けない等に備えての補助器具（おんぶらっく）を使った訓練も行っている。
	40	虐待を防止するため、職員の研修会を確保する等、適切な対応をしているか		反省会を行い日々の振り返り、また研修の内容を法人内で虐待についての研修を合わせて行い周知し、行っている。東京都が主催している研修に参加している。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか		現在、対象利用者がいないため行っていない。必要に迫った時は、障害者虐待防止法に基づいた措置を行っていく。保護者に拘束の事前説明・署名を頂き、了承したうえで進める。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか		フェイスシートにて保護者から聞き取りを行っている。 対応しているが、今後一覧表を作成予定。
43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか		・法人内で安全委員会を設置。定期的に法人内で報告はしています。今年度は事例集作成も検討していきます。	